

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 27

東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日
例 会 日 毎週月曜日 12:30~
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪
事 務 所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06 (6772) 2320
FAX. 06 (6772) 2327
E-mail: hcrc@at.wakwak.com



会 長 浅 野 光 男
会長エレクト 岩 崎 史 郎
副 会 長 鈴 木 勝 俊
幹 事 小 川 高 弘
会報委員長 大 石 忠 克

Reach within to Embrace Humanity こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011~2012年度 国際ロータリー会長 カルヤン・バナルジー

平成 24 年 2 月 20 日 (月曜日) 第 27 号

2月20日(月)

「創立40周年記念式典」

シェラトン都ホテル大阪 4階「浪速の間」

受付 午後 3:30

第1部 記念式典 午後 4:30 開会

第2部 祝 宴 (雅楽鑑賞)

次回の例会

2月27日(月) 第3例会

◎卓 話 「最近の話題」

(担当: 佐藤三千秋会員)

◎本日の献立 フランス料理

前回の例会記録

2月13日(月) 第2例会

◎ゲスト 米山奨学生 陸光杰君

会 長 挨 拶

会 長 浅野光男

例会度のお話になりますが、40周年記念行事開催まで後1週間に迫って参りました。百済実行委員長並びに会員の皆様には何かと協力を戴いていますが、本当にご苦労様です。御礼を申し上げたいと存じます。間近になりますと打合せ会議では段々と目元が鋭くなり話にも熱が入り声も大きくなりますが、親身になって一生懸命取り組んで戴いている姿に我クラブの力強さを感じております。開催当日はしっかりと頑張りたいと思います。

先週6日(月)、7日(火)と2日間再度仙台を中心に災害地視察に小川幹事・岩橋会員3名で行って参りました。

現地復興状況は昨年8月訪れた頃とは若干進んでいる様に思われましたが、山積みされていた残骸の量が少し減った程度で、見た目ではほとんど変わっていないように感じました。今回は互理町の漁師の方々、石巻のボランティアの基点になっています教会の牧師さん、南三陸町で自分も被災者でありながら仮設ハウスの住民のケアにたずさわっている方とのミーティングを重点に行ないました。その内で大震災直後に世界各国及び日本全国からのボランティアの方々には約7万人、今は約1万5千人で、その内関西の方々が70%を占めているとの事でした。話の中で、少しでも早く復興の目途を経て、何時までもボランティアに頼るのではなく、自力復興に努力すると力強く語ってくれた若い男性の言葉に心を打たれました。善意の好意は一時的なものではなく、目途がたつまで継続して行なわなければ意味をなさないのではと強く感じました。

幹 事 報 告

幹 事 小川高弘

1. 本日例会終了後、第8回定例理事役員会を3階葛城の間で開催致します。理事・役員各位には宜しくお願い致します。
2. 次週2月20日(月)は40周年記念式典となっております。シェラトン都ホテル大阪4階「浪速の間」午後3時30分、会員並びにご夫人の登録受付です。その後、集合写真を撮りますのでお時間のお間違えないよう、ご確認よろしくお願い致します。
3. クラブ例会変更及び休会のご案内を掲示しています。

出席報告

本日の会員数	36名
本日の出席者数	24名
本日の出席規定適用免除会員	13名
本日の出席率	77.42%
1月23日の修正出席率	100%

SAAニコニコ箱報告

岡本SAA

- 浅野会長 台湾総領事僑務部長、陳敏永様、お久しぶりです。本日卓話良ろしくお願い致します。又、40周年実行委員の皆様ご苦労様です。
- 小川幹事 来週は40周年記念式典です。皆様宜しくお願い致します。
- 瀧田会員 先日は私のエイジ・シュートの祝の会を開いて下さり、感謝です。沢山の方に祝って頂いて、タテまで頂きました。感謝!!
- 佐藤会員 浅野会長の頑張り、配慮に謝謝。
- 百済会員 来週20日は40周年記念式典です。皆様のご協力・ご支援お願いします。
- 三木会員 40周年の式典の成功を祈念して。
- 岩崎会員 40周年式典宜しくお願い致します。
- 松浦会員 いよいよ来週です。皆様よろしく申し上げます。
- 岡田会員 40周年、皆んなで盛り上げましょう。
- 佐井会員 陳部長の卓話を歓迎して。ホタラ。

2月のお祝

- 入会記念日 黒田 郷田 林 坪倉 金子(誠) 佐井
和田 岩橋(各会員)
- 会員誕生日 瀧田 坪倉 木村(各会員)
- 夫人誕生日 坪倉 道子様 宮崎 悦子様
松岡 尚美様 金子 桂様
- 結婚記念日 林 湯谷 木村 宮崎 松岡 佐井
清水(各会員)
- 1月の内祝ニコニコ 累計 432,500円
- 1月のニコニコ箱 157,370円 累計 916,442円

卓話 「台湾人はなぜ日本好きか」

台北駐大阪経済文化辦事處 僑務部長 陳 敏永氏

皆様、こんにちは。ご紹介いただきました台北駐大阪経済文化事弁処僑務担当の陳敏永と申します。本日は卓話の機会を与えていただき、心から御礼申し上げます。去年の10月、会長が率いる訪問団が台北で滞在されましたとき、ちょうど私は休暇で台湾に帰っていました。蔡伸雄さんにぜひと誘われて、訪問団の方々と一緒に食事したのですが、意気投合した皆さんとお酒を「ほったら」しました。これがきっかけかどうか分かりませんが、

15分間台湾の話しをさせていただくことになりました。初めて講演いたしますので、おかしい事を言っても、許して下さいますようお願いいたします。

それでは本題の「台湾人はなぜ日本好きか」をテーマにはなしをさせていただきます。2010年3月、日本政府の駐台大使館に当たる日本交流協会が台湾で行った「最も好きな国はどこ？」の世論調査では、台湾国民の5割強が日本を「最も好きな国」に選んだという調査結果を発表しました。これは20~80歳の台湾人男女約千人を対象にアンケート調査したものです。この中で「最も好きな国」として日本を挙げた人は52%で、2位である米国の8%を大きく引き離し、3位の中国は僅か5%だけでした。予想通りの結果ですが、台湾は「世界一」親日な国だとお分かり頂けると思います。

世論調査のほか、去年3月、日本が大地震に見舞われた時、即座に動いた台湾の行動と台湾国民からの義援金が200億円を超えることなどはいかに親日であるかと示しております。「我々台湾人が最も好きな国は日本である」、その理由を幾つかの角度から考えてみました。

まず過去を遡り、下関条約の歴史背景から考えてみます。1895年の下関条約により中国、清朝は日本に台湾を割譲し、その後、日本による台湾の植民地統治が50年間続きました。台湾人は日本の植民地時代には二等国民の扱いをされ、差別も受けていましたが、一方、当時の台湾はインフラ建設が整い、教育、公衆衛生などが普及し、社会秩序も安定していました。今も残る日本植民地時代のインフラ建設はいくつかありますが、最も代表的なものは台南における八田与一氏が築いた烏山頭ダムでございます。このダムは当時のアジアでは最大、世界でも第3位の規模を誇りました。

去年の5月8日、台湾の国の事業として建設した「八田与一記念公園」が開園しました。この公園には八田与一氏の銅像と記念館があり、復元された宿舎には出身地の石川県民から寄せられた当時の家具も展示しています。この公園は現在、すでに台湾南部の観光名所となっております。今年の5月8日は八田与一氏の70回忌でございます。皆様が台湾を訪問される際は、「八田与一記念公園」をぜひお訪ねください。

続きまして、戦後の歴史背景から考えてみます。台湾は中華民国に返還されましたが、大陸では、熾烈な内戦(国民党と共産党の戦い)が始まり、台湾接收にやってきた訓練が行き届かず、規律も乱れた部隊は好き勝手に行動しました。

※紙面の都合で以下の卓話原稿は事務局に保管。